

TE-W71PSBシリーズ 取付マニュアル

TE-W71PSB シリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

⚠危険

適合が明記されている車種以外には取り付けできません。適合車種は、店頭の手帳別ハーネス適合表でご確認ください。

マニュアル車へ取り付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ重大事故につながります。

●マニュアル車には取り付けできません。



●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。



●年間を通じ、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車には、取り付けできません。

●雨滴感応ワイパー装着車には、取り付けできません。取り付けすると車両故障の原因となります。

⚠注意 本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

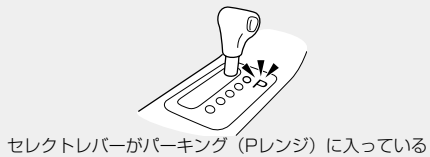
⚠注意 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

⚠注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

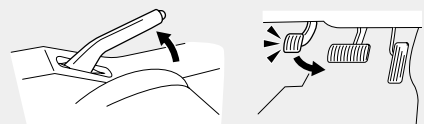
配線のしかた（ドアロック配線の方法は裏面をご覧ください）

各ハーネスの配線場所は、車種によって異なります。詳しい配線場所については弊社ホームページから車種別配線情報（ピットマニュアル）をご確認ください。

1 車両が次の状態になっていることを確認します。



セレクトレバーがパーキング（Pレンジ）に入っている



（サイド式）

（フット式）

パーキングブレーキがかけられている



イグニッションがOFFになっている

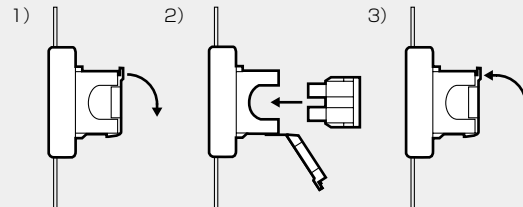
2 本体の取り付け位置を仮決めします。

取り付け位置は、アンダーダッシュ内です。

参考 まだ固定しないでください。

- メモ 場所決めのポイント
- ・しっかり固定できますか？
 - ・各ハーネスの長さは足りませんか？
 - ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか？
 - ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分（ボディやコード類など）から5cm以上、離れていますか？（ETC、レーダー探知機、ナビゲーション機器のアンテナからはできるだけ離してください。）

3 付属のヒューズのうち、ピットマニュアルに指定されているアンペアのヒューズを取り付けます。



4 付属のワンタッチコネクタで、フットブレーキハーネスの紫色のコードを取り付けます。

配線場所はピットマニュアル参照

5 付属のワンタッチコネクタで、フットブレーキハーネスの黄色のコードを、車両のフットブレーキペダル上部にある常時+12Vのコードに取り付けます。

配線場所はピットマニュアル参照

6 プッシュスタート車対応アダプター（別売）を取り付けます。

プッシュスタート車対応アダプターの取扱説明書参照
ピットマニュアル参照

7 下図に従って、4～6で車両に接続したハーネスを本体に接続します。

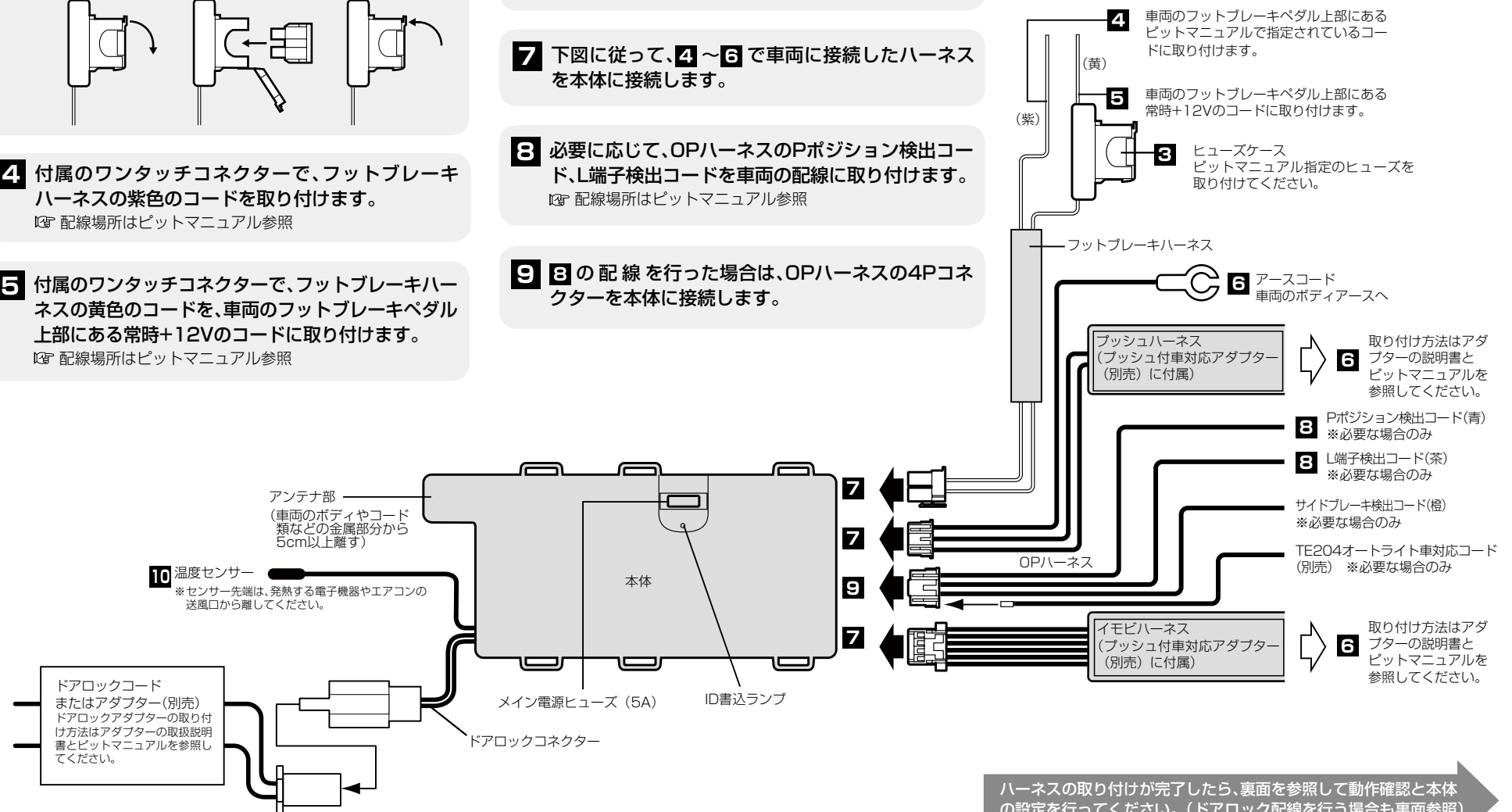
8 必要に応じて、OPハーネスのPポジション検出コード、L端子検出コードを車両の配線に取り付けます。

配線場所はピットマニュアル参照

9 8の配線を行った場合は、OPハーネスの4Pコネクタを本体に接続します。

10 温度センサーを固定します。

温度センサー先端のセンサー部を、発熱する電子機器やエアコンの通風口から離して設置します。

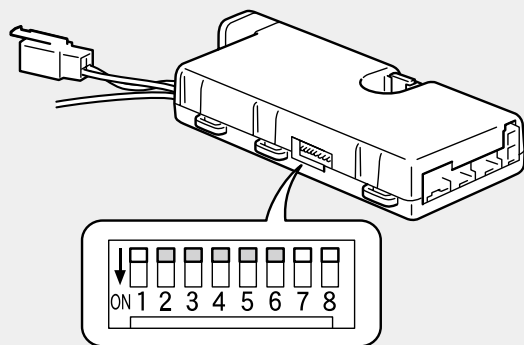


ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。（ドアロック配線を行う場合も裏面参照）

動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。

1 取付車種に合わせて設定スイッチ2~6の設定を変更します。



●設定スイッチ

スイッチ No.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出しない	検出する
2	ACC配線	なし	あり
3	L端子配線	なし	あり
4	Pポジション配線	なし	あり
5	車種設定A	通常	特殊
6	車種設定B	通常	特殊
7	(使用しません)	—	—
8	ID書込	通常	書込

■は工場出荷時設定です。

メモ 車種によって設定が異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

メモ 設定スイッチ5、6は、2で初期設定が完了すると、スイッチを変更しても設定が変更されません。何らかの理由で設定を変更する場合は、本体に差さっているフットブレーキハーネスを抜くか、バッテリーのマイナス端子を一旦外して設定をリセットしてください。

2 初期設定を行います。

- 1) 本体のID書込ランプが約1秒間隔で点滅していることを確認してください。
 - <LEDが常に点灯している場合>
 - 本体の設定スイッチ8をOFFへ切り替えてください。
 - <LEDが点滅しない場合>
 - フットブレーキハーネスを本体から一旦引き抜き、15秒以上経過後、再び本体に接続してください。接続してもLEDが点滅しない場合は、各ハーネスの接続を確認してください。

- 2) 純正のスマートキーを車内に持ち込み、ドアを一旦閉め、エンジンスイッチを2回押し、車両のイグニッションをONにしてください。イモビライザーの通信データが本体に登録されると、ID書込ランプが消灯します。ID書込ランプが消灯しない場合は、設定スイッチ2~6の設定や、車両への配線を確認した後、再度1) からやり直してください。
 - △注意 エンジンがかからないでください。エンジンをかけると、正しく登録できない場合があります。
 - △注意 ID書込ランプが消灯するまでイグニッションはOFFにしないでください。

- 3) 動作を確認します。イグニッションをOFFにしてドアを閉め、純正のスマートキーを車から離れた場所へ移動させた後、リモコンでエンジンスタートの操作を行ってください。

- <エンジンがかかる場合>
 - 初期設定は完了です。
- <エンジンがかからない場合 (リモコンにエラーが表示される場合)>
 - 以下を参照してください。それ以外のエラーが表示される場合は、取扱説明書の「エラー表示一覧」を参照してください。

「Err07」
エンジンスイッチがACC、イグニッションONの状態ではリモコンでエンジンが始動できません。エンジンスターター使用の際にはエンジンスイッチをOFFの状態にしておいてください。

「Err11」
スマートキーが車内に持ち込まれていないか確認してください。アダプターにスマートキーを取り付けた場合は、スマートキーの電池が抜かれているか確認してください。

「Err12」
プッシュハーネスが正しく配線されているか確認してください。ループ式アダプターを取り付けた場合は、ループアンテナの取り付け位置やケース内のキーの固定位置を確認してください。

「Err13」
手順2) で、エンジンスイッチの動作が正しく認識できませんでした。エンジンスイッチを2秒程度押しした後、エンジンスイッチをOFFの状態にして再度手順3) を行ってください。

「Err15」
初期設定が正しく完了できませんでした。フットブレーキハーネスを本体から一旦引き抜き、15秒経過後、再び本体に接続し、手順1) からやり直してください。

メモ エンジンがかからないときは、取扱説明書の「スターターでエンジンがかからないとき」を参照して対処してください。

3 パーキングブレーキ検出を使用する場合は、次の作業を行ってください。

メモ 寒冷地などでパーキング（サイド）ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

- 1) 市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード（橙）を車両の次のコードに取り付けます。
 - パーキング（サイド）ブレーキをかけたときに0V
 - パーキング（サイド）ブレーキを解除したときに12V
- 2) 設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する（下側）」にします。

●パーキングブレーキ検出設定

スイッチ1	パーキングブレーキ検出
OFF	検出しない（標準設定）
ON	検出する

■は工場出荷時設定です。

4 ドアロック機能を使用する場合は、次の作業を行ってください。

メモ プッシュスタート車対応アダプターのドアロック機能に対応している車種の場合は、この作業は不要です。

△注意 車種によってはドアロック機能が使用できないことがあります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

- <マイナス制御車（TE202適合車種）の場合>
 - 1) 別売のドアロックコード（TE202）の緑コードを次の条件を満たすコードに接続します。
 - 車両のドアロックスイッチを押したときに0V（アースと導通）
 - スwitchを離しているときに+12V
 - 2) ドアロックコードの青コードを次の条件を満たすコードに接続します。
 - 車両のドアアンロックスイッチを押したときに0V（アースと導通）
 - スwitchを離しているときに+12V

- 3) ドアロックコードのコネクタをしっかりと本体のドアロックコネクタに差し込みます。

<マイナス制御以外の車の場合>
当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表を参照して、指定されたドアロックアダプターを使用してください。アダプターの詳しい取り付け方法は、アダプター付属の取扱説明書を参照してください。

△注意 マイナス制御以外のアダプターを取り付ける場合は、取付方法が特殊です。必ずピットマニュアルを参照し、記載されている方法で配線してください。

<取り付け後の動作確認>
車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

5 オートライト車対応コードの配線を行う場合は次の作業を行ってください。

△注意 車種によっては、オートライト車対応コードが使用できない、または不要な場合があります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

メモ オートライト車対応コードを配線した場合、エンジンスターターを使用した際、エンジン停止後に車両の室内灯が10秒~1分程度点灯します。（点灯時間は車両の仕様により異なります）

- 1) 別売のオートライト車対応コード（TE204）を、OPハーネス4Pコネクタの指定位置に接続します。



端子の向きに注意してください。

ここに差し込みます。

- 2) TE204に付属のワンタッチコネクタで、オートライト車対応コードを車両の次のコードに取り付けます。
 - 車両の運転席のドアを閉めたときに+12V
 - 車両の運転席のドアを開けたときに0V
- 3) OPハーネスを本体に取り付けます。

6 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

7 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

参考

車種別配線情報(ピットマニュアル)もご覧ください。ピットマニュアルの参照方法は、店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。ただし、ピットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ワンタッチコネクタの使いかた

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) プライヤーなどで金具を押し込む
- 4) カバーをして絶縁テープを巻く

取り付けに関するお問い合わせ先
カーメイトサービスセンター
Tel: (03) 5926-1216 (代表)
Fax: (03) 5926-1218